

# 東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	国語	科目：	論理国語	単位数：	3	指導学年：	3
使用教科書	精選論理国語（東京書籍）	副教材	頻度順入試漢字の総演習三訂版				

年間指導目標：

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中 間 考 査	単元名【言葉を再考する】 読む『混じりあう言葉』 筆者の体験と考察の関係に着目して読み、言語に対する見方を広げる。 読む『言語と記号』 論の展開を意識して主張を理解し、言語に対する筆者の考え方と自己の考え方を比較する。	(知)	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組み方や接続の仕方を理解している。	○	○	○	○		23
			(思)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。	○	○		○		
			(態)	粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の道筋をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識と関連付けて自分の意見をまとめ、発表しようとしている。		○	○	○	○	

1 学 期	期 末 考 査	単元名【メディアを問い直す】 読む『おじさんのランプ』 話題と主張の関係に着目して読み、時代とともに変わっていく本の在り方について考える。 探求『社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く』 社会的話題について論じた本を読み、検証する。	(知)	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。	○	○	○	○	24
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	○	○	○	○	
			(態)	積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理分析して自己把握についての考えをまとめ他者に伝えようとしている。	○	○	○	○	
2 学 期	中 間 考 査	単元名【他者のいる思考】 読む『原始社会像の真実』 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷をとらえる見方を身につける。 読む『ロボットは意志を持つか』 意志や事由について論じた評論を読み、哲学的な思考の方法を理解する。	(知)	論証したり、学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	○	23
			(思)	「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	○	○	○	○	
			(態)	進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読み取り、今までの学習を生かして自分とその人間関係について考えを深めようとしている。	○	○	○	○	
2 学 期	期 末 考 査	単元名【自己と社会】 読む『サッカーにおける「資本主義の精神」』 筆者のノベルサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 探求『資料を活用して論述する』 資料から情報を読み取り、それをもとに意見をまとめることで、思考を深め広げる。	(知)	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について、理解を深めている。	○	○	○	○	24
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 書くことにおいて多面的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。	○	○	○	○	
			(態)	積極的に記述から中心主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における課題を具体的に考え話し合おうとしている。	○	○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	単元名【自己と社会】 読む『』 筆者のノベルサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 探求『資料を活用して論述する』 資料から情報を読み取り、それをもとに意見をまとめることで、思考を深め広げる。	(知)	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組み方や接続の仕方を理解している。	○	○	○	○	23
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	○	○	○	○	
			(態)	積極的に社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	○	
合計									117